

科目名	小論文の書き方	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
英文表記	Composition	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	橋元 志保	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	文章表現の基本を身につける。また、読解力・思考力・表現力を磨き、深く考察できる力を涵養する。			
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力を修得することができます。 1. レポートや論文等を書くための、論理的な文章の基本スキルを身につけることができる。 2. 公務員試験（地方上級職・警察官他）の論文試験や、優良企業の採用の試験論文に取り組むことができるレベルの知識や表現力等を身につけることができる。			
授業概要	<p>本講義では、小論文やレポートの書き方を学びます。大学生活において、論理的な文章を「書く」という行為は欠かせないものです。定期試験における論述やレポート、そして卒業論文など、「テーマを決め、それに基づいて資料を集め、構成を考え、明確な文章で叙述する」ことを求められる授業は数多くあります。そのため、文章力を身につけると様々な学修が容易になり、成績も向上します。</p> <p>はじめに、テーマの設定や資料の検索の仕方、構成の重要性、叙述のスキルなどを学んでいきます。また、自分が書いた文章を、表記や文体、構成などの観点から、より良い文章に推敲していく方法も身につけていきましょう。段階的に「書く力」「表現する力」を伸ばしていきますが、時事問題の効果的な取り入れ方についても学び、最終的には公務員試験の論文試験に合格できるような力を養成することを、目指していきます。</p>			
授業計画				
第1回	ガイダンスーより良い文章を書くためにー			
第2回	日本語表現のセンスを磨くー多読のすすめー			
第3回	コンポジションの技法Ⅰーテーマの選び方ー			
第4回	コンポジションの技法Ⅱー文献調査の仕方ー			
第5回	コンポジションの技法Ⅲー構成・アウトラインの立て方ー			
第6回	コンポジションの技法Ⅳー叙述の方法ー			
第7回	コンポジションの技法Ⅴー引用のマナーと研究倫理ー			
第8回	コンポジションの技法Ⅵー推敲の極意ー			
第9回	国語力を高めようⅠー自己分析の方法ー			
第10回	国語力を高めようⅡー自己PRと表現力ー			
第11回	国語力を高めようⅢー論文試験に合格するためにー			
第12回	時事問題の学び方ⅠーSDGsと持続可能な社会ー			
第13回	時事問題の学び方Ⅱー子どもの貧困と格差社会についてー			
第14回	時事問題の学び方Ⅲー『不都合な真実』と環境問題についてー			
第15回	時事問題の学び方Ⅳー持続可能な開発と再生可能エネルギーー			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<p>1. 段階的に難易度を上げて、読む力・考える力・書く力を養成しますので、テキストの予習や配布された資料の復習を怠らず、課題プリントも毎回必ずやりましょう（2時間程度）。</p> <p>2. 時事問題を学ぶために、ニュースや新聞に目を通す習慣を身につけましょう（1時間程度）。</p>			
履修条件 受講のルール	「文章の読み方」を履修し、単位を取得していることが望ましい。なお、実際に書かないと文章は上達しないので、他の授業以上に毎回の課題をしっかりとやってください。			

テキスト	渡邊淳子『大学生のための論文・レポートの論理的な書き方』<改訂版> (研究社 2022 年) を必ず購入してください。上記以外は、資料を配布するか、ポータルサイトに掲載します。
参考文献・資料	授業時に紹介します。吉岡友治『論文試験 頻出テーマのまとめ方』(実務教育出版 2014 年) 保坂弘司『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』(玉川大学出版部 1978 年) 他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢 (15%)、課題の提出 (25%)、試験 (60%)】を基に、総合評価を行います。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	木・金曜日 14 時 40 分～16 時 10 分※これ以外の時間は事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	論理的な文章を書けるようになると、様々な科目の試験やレポート作成に必ず役立ち、成績も上がることでしょう。また、公務員試験の論文対策も行いますので、志望者はぜひ受講してください。